

## 2 ごみ固形化燃料(RDF)の性状等

### (1) ごみ固形化燃料 (RDF) の性状

RDFの性状に関しては、標準情報 (TR) で次のように規定されている。

#### 廃棄物固形化燃料 (TR Z0011 : 2002)

RDFとは、可燃性廃棄物を主原料として、圧縮成形、押出成形などによって固形化した燃料で、適切な燃焼施設で適切に燃焼させることを前提として製造されたもの。

#### RDFの主な規定内容



#### 形状及び寸法

RDFの形状は、ほぼ円柱状とし、寸法は長さ10~100mm及び直径10~50mmとする。ただし、受渡当事者の協定がある場合は、これ以外の形状及び寸法のものでもよい。

#### 品質

##### ・発熱量、水分、灰分

項目	品質
発熱量	12.5MJ/kg 以上
水分	10%以下
灰分	20%以下

→約3,000kcal/kg

##### ・金属含有量・全塩素分・硫黄分・窒素分・かさ密度・粉化度

金属含有量・全塩素分・硫黄分・窒素分・かさ密度・粉化度の規定値は定めないが、試験した値を報告する。ただし、受渡当事者の協定がある場合は、それによることができる。

#### 原料

##### ・主原料

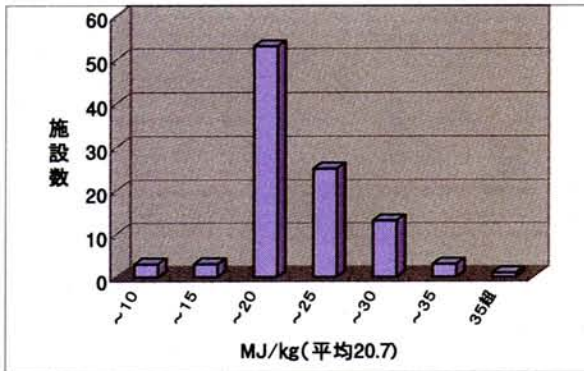
RDFの主原料は一般廃棄物及び産業廃棄物とし、その組成割合を報告する。

##### ・添加剤

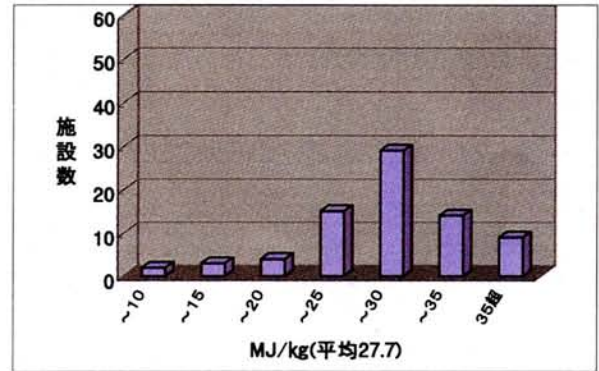
RDFに酸化カルシウム又は水酸化カルシウムを添加した場合は、主原料に対する添加率からRDFの含有率 (質量百分率) を求めて報告する。

一方、RDF 等関係施設の調査結果から、取り扱われている RDF 等の性状は次のとおりであった。

### 各施設の RDF 等発熱量

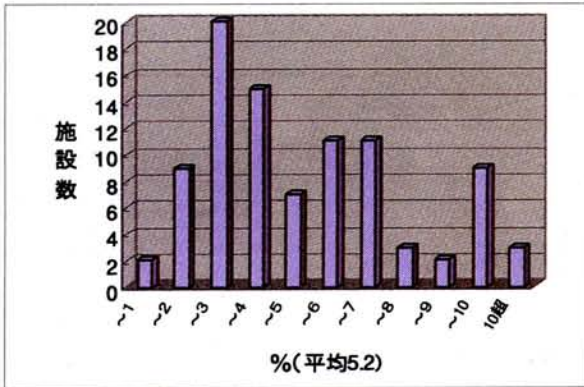


R D F

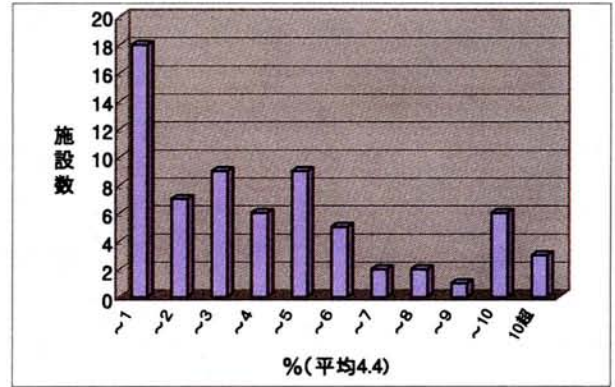


R P F

### 各施設の RDF 等水分量

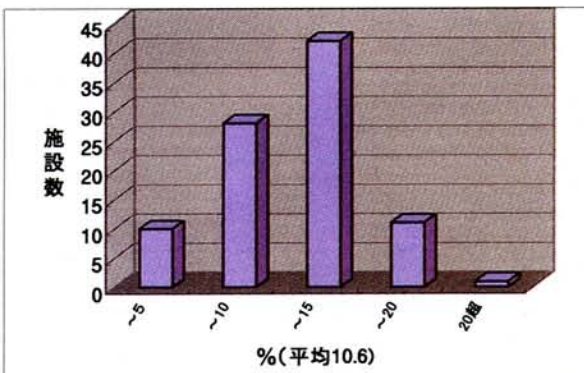


R D F

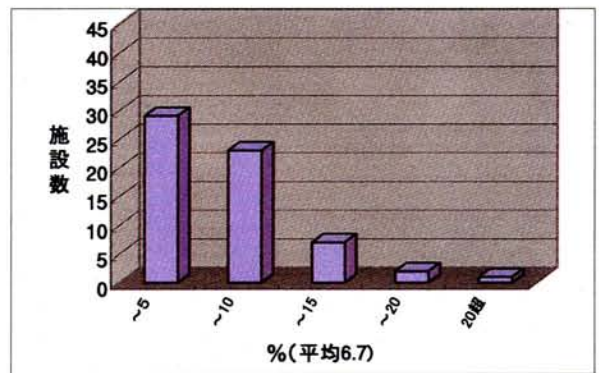


R P F

### 各施設の RDF 等灰分量



R D F



R P F

## (2) RDFに関する消防法令上の規制

指定可燃物のうち、該当する可能性があるものとして「可燃性固体類」があげられるが、引火点、融点、燃焼熱量から一般的には、これに該当しない。(RDFの燃焼熱量は、約20MJ/kg程度のものが多いが、可燃性固体類は引火点100度以上の場合は燃焼熱量34MJ/kg(約8,100cal/g)以上とされている。)